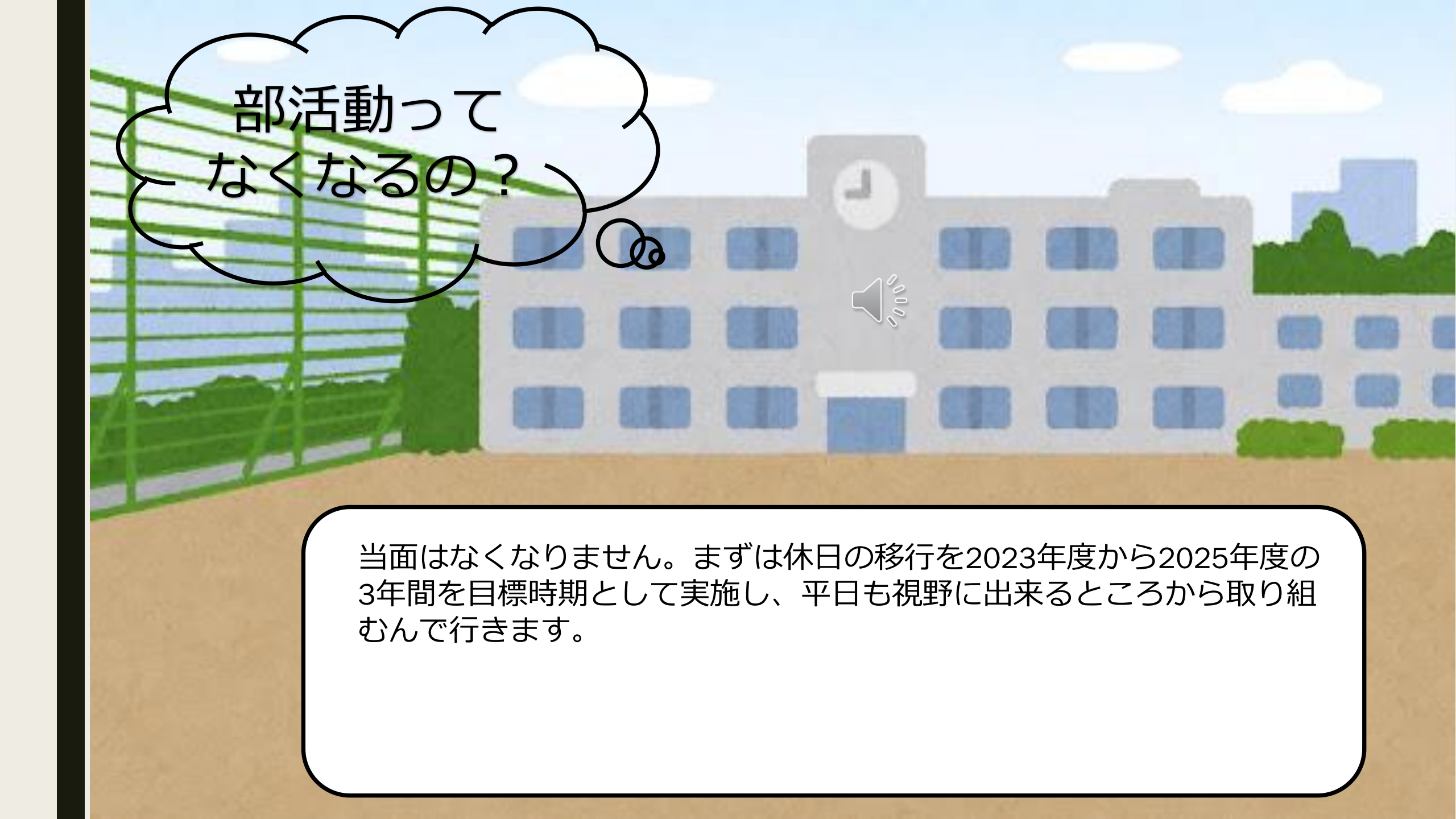


部活動が変わります！！

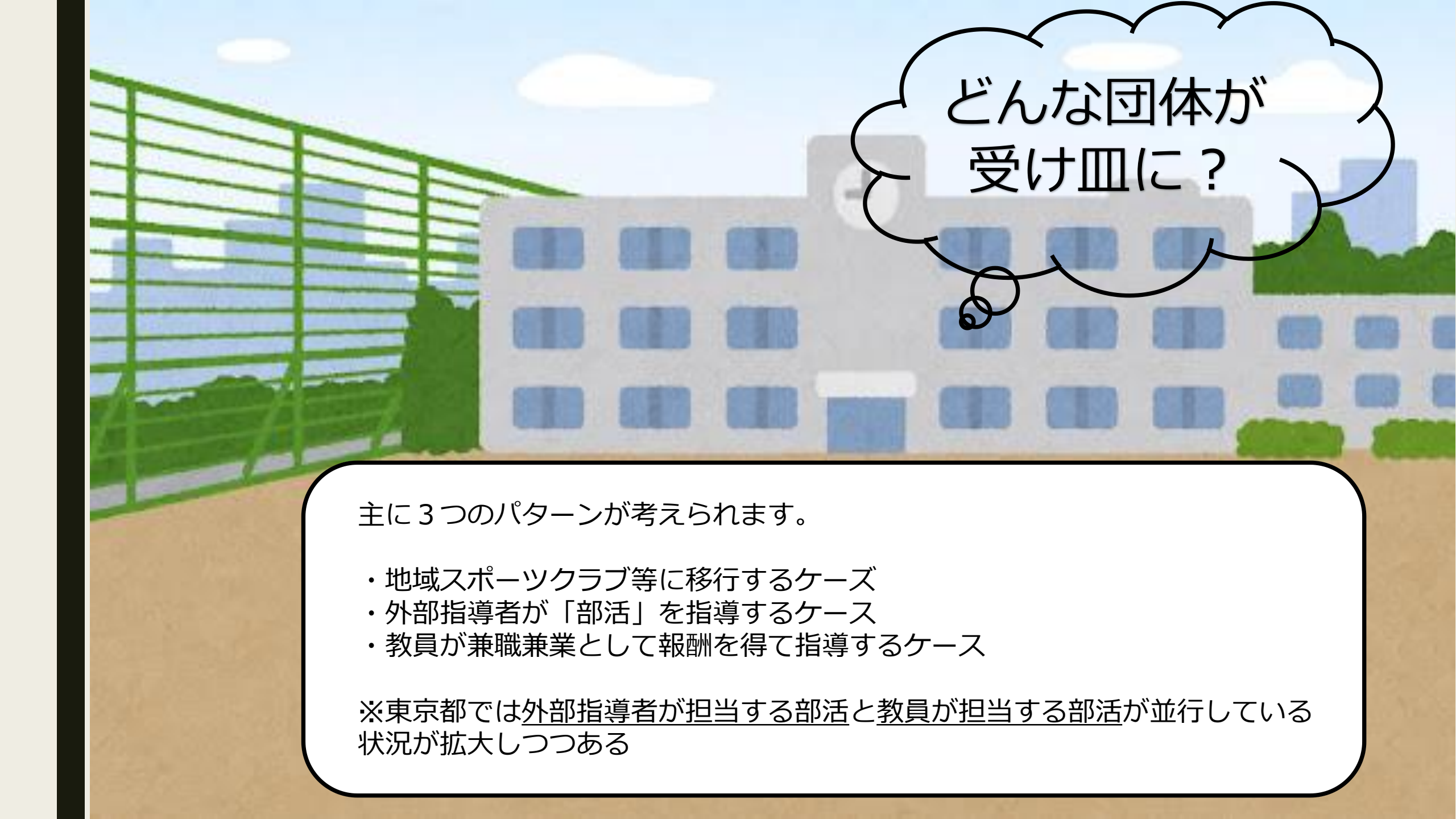
～令和5年度から地域移行が始まります～

北海道教育庁 部活動の在り方検討支援アドバイザー
磯田大治



部活動って
なくなるの？

当面はなくなりません。まずは休日の移行を2023年度から2025年度の3年間を目標時期として実施し、平日も視野に出来るところから取り組むんで行きます。

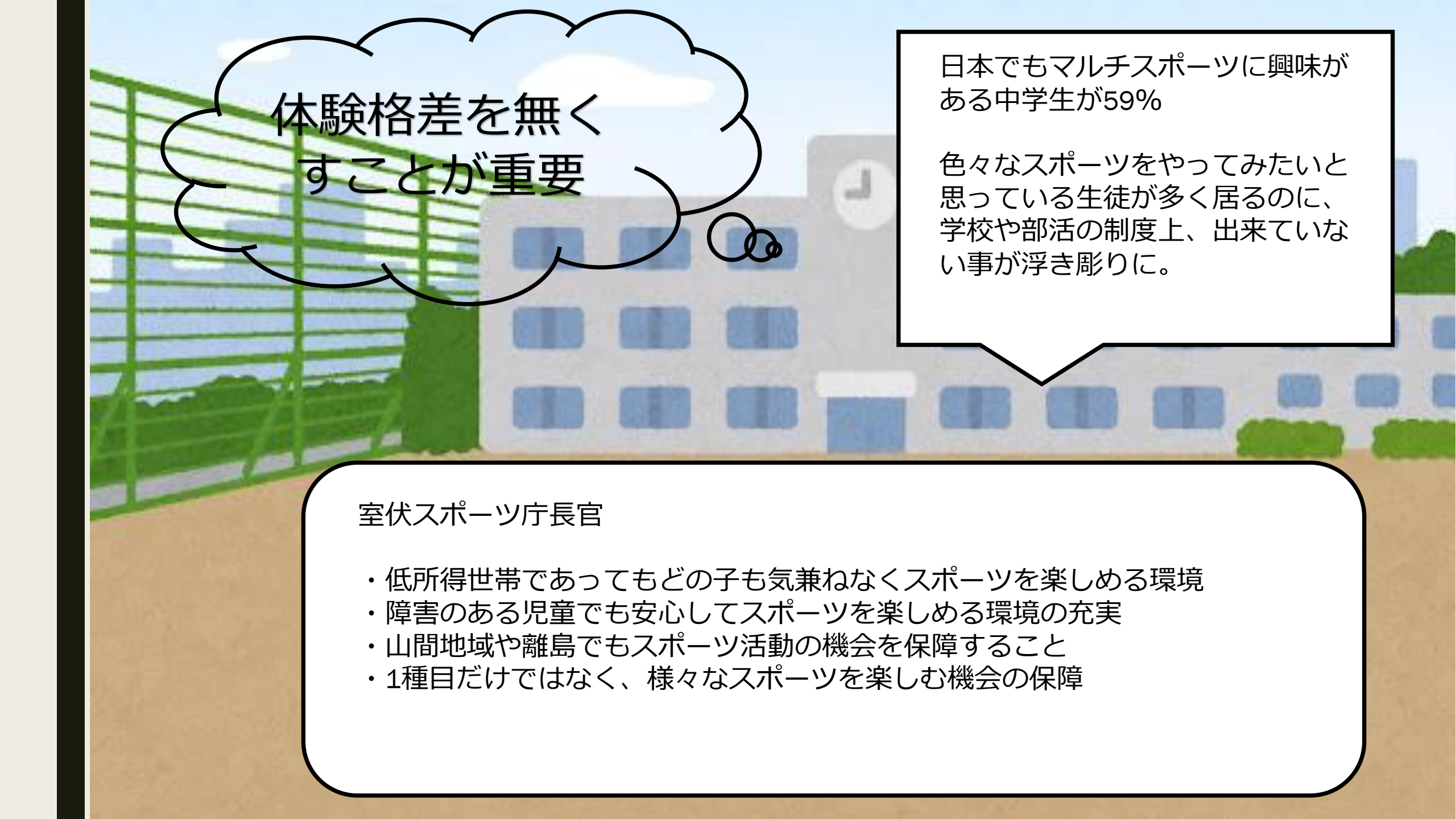


どんな団体が
受け皿に？

主に3つのパターンが考えられます。

- ・ 地域スポーツクラブ等に移行するケース
- ・ 外部指導者が「部活」を指導するケース
- ・ 教員が兼職兼業として報酬を得て指導するケース

※東京都では外部指導者が担当する部活と教員が担当する部活が並行している状況が拡大しつつある



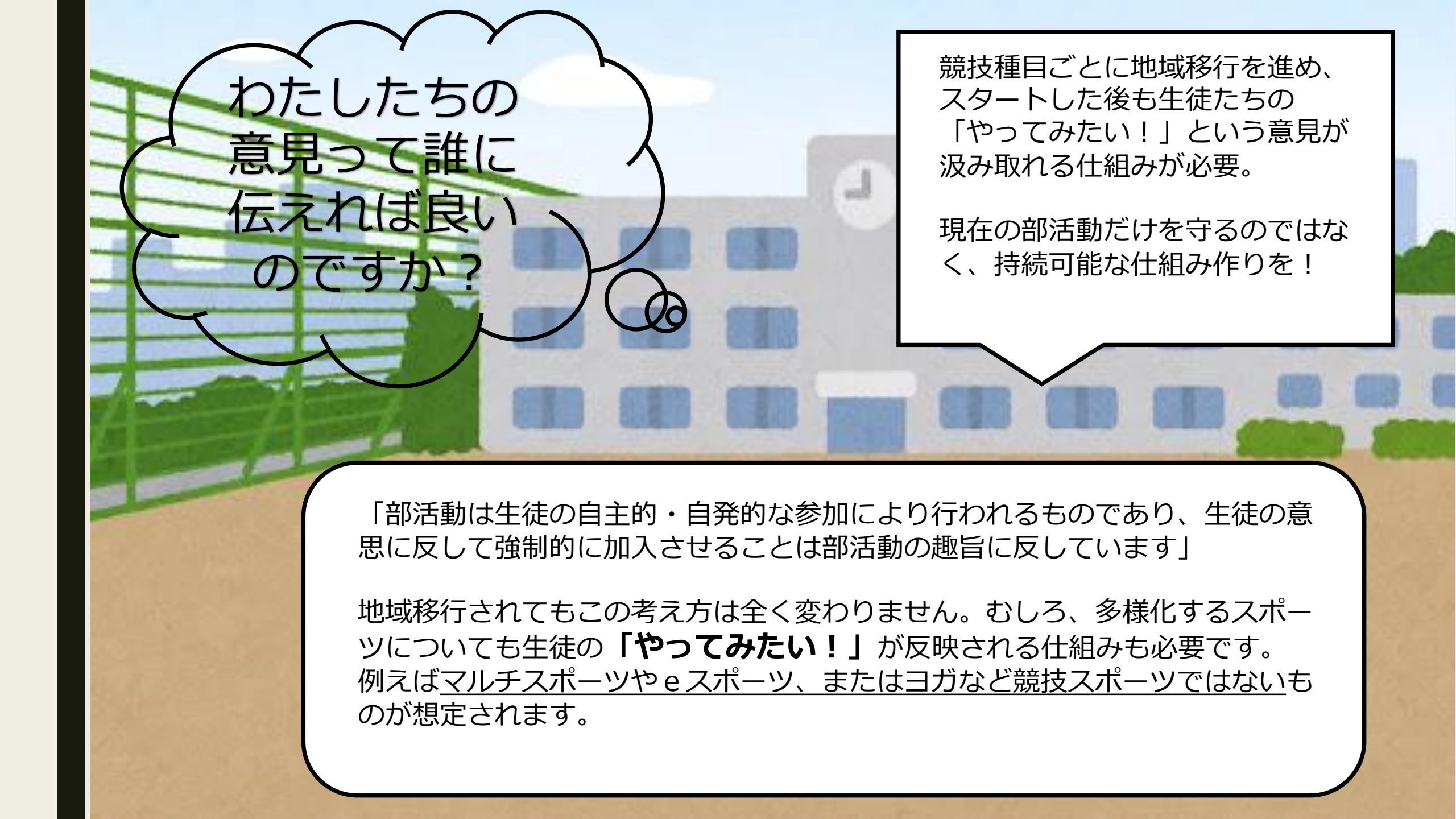
体験格差を無く
することが重要

日本でもマルチスポーツに興味がある中学生が59%

色々なスポーツをやってみたいと思っている生徒が多く居るのに、学校や部活の制度上、出来ていない事が浮き彫りに。

室伏スポーツ庁長官

- ・ 低所得世帯であってもどの子も気兼ねなくスポーツを楽しめる環境
- ・ 障害のある児童でも安心してスポーツを楽しめる環境の充実
- ・ 山間地域や離島でもスポーツ活動の機会を保障すること
- ・ 1種目だけではなく、様々なスポーツを楽しむ機会の保障



わたしたちの
意見って誰に
伝えれば良い
のですか？

競技種目ごとに地域移行を進め、
スタートした後も生徒たちの
「やってみたい！」という意見が
汲み取れる仕組みが必要。

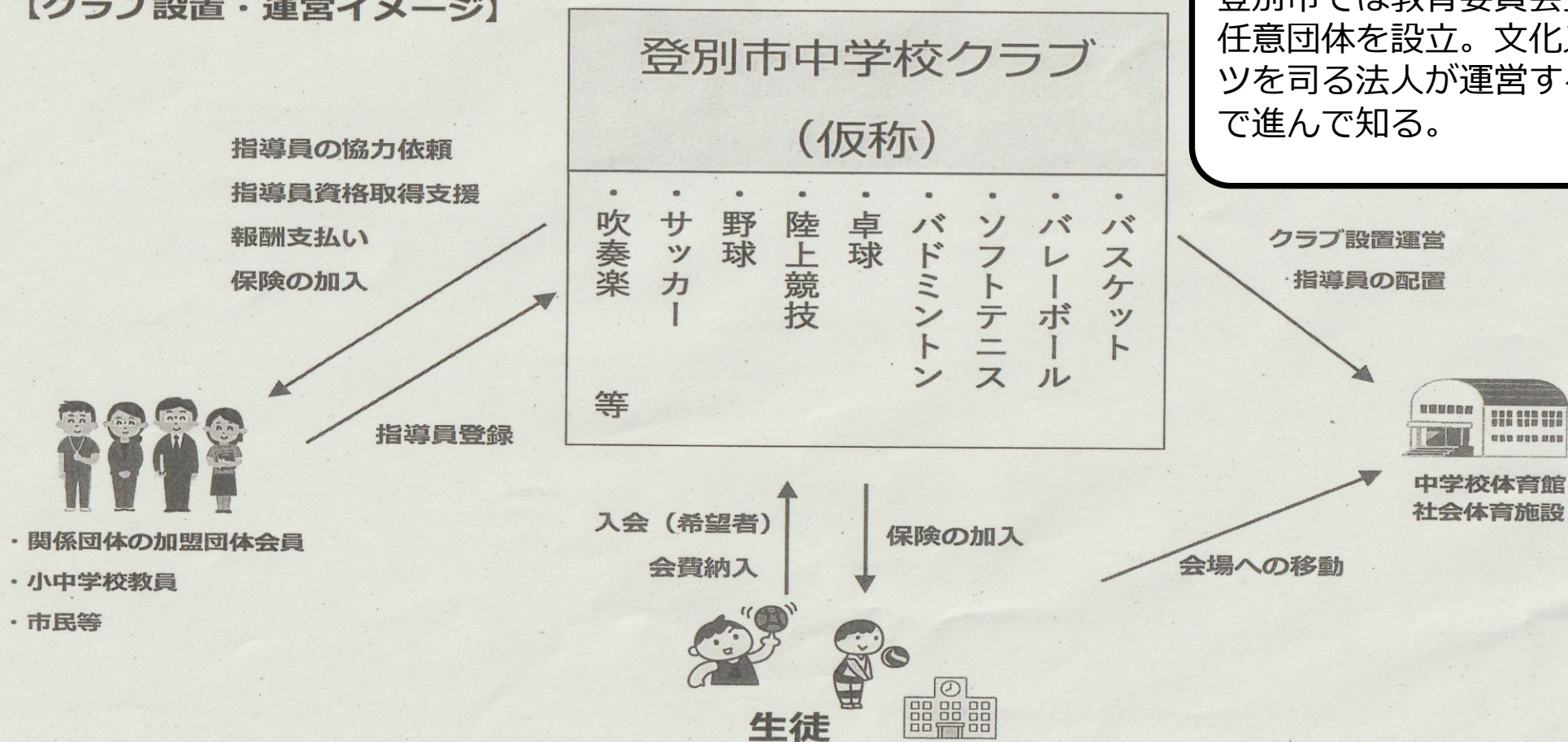
現在の部活動だけを守るのではなく、
持続可能な仕組み作りを！

「部活動は生徒の自主的・自発的な参加により行われるものであり、生徒の意思に反して強制的に加入させることは部活動の趣旨に反しています」

地域移行されてもこの考え方は全く変わりません。むしろ、多様化するスポーツについても生徒の「**やってみたい！**」が反映される仕組みも必要です。
例えばマルチスポーツやeスポーツ、またはヨガなど競技スポーツではないものが想定されます。

『登別市中学校クラブ（仮称）』の実施体制について（イメージ）

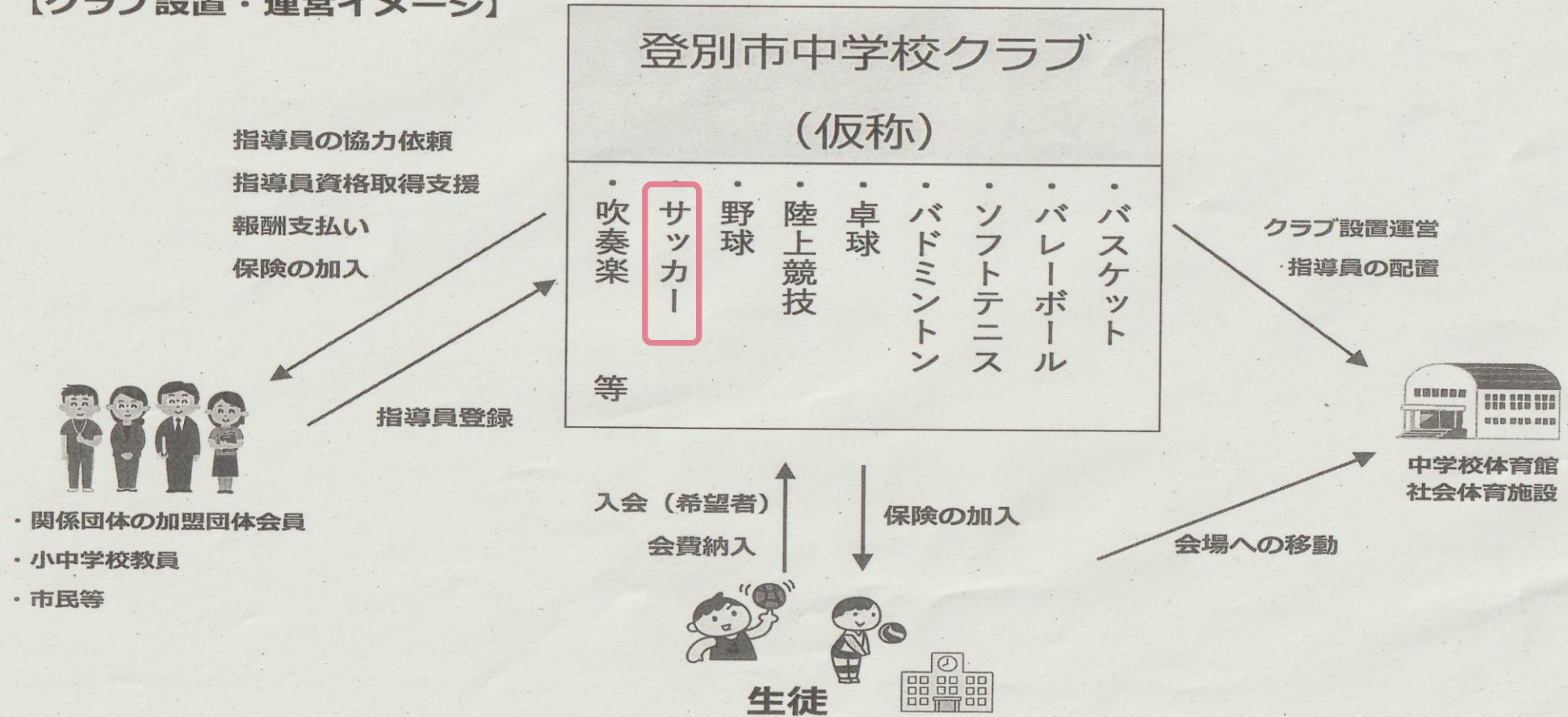
【クラブ設置・運営イメージ】



登別市では教育委員会主導で任意団体を設立。文化スポーツを司る法人が運営する方向で進んで知る。

『登別市中学校クラブ（仮称）』の実施体制について（イメージ）

【クラブ設置・運営イメージ】



例) サッカーの状況

サッカー部有り

A中

B中



クラブ
チーム



中学校クラブ

現存している部活動のみで
議論を進めると、CDEの生徒
たちは置き去りにされてしま
います。

サッカー部無し

C中

D中

E中



僕たちは？

① 中川中学校と中央小学校の児童数

校名	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
中川中学校	25	28	33	36	35	30	27
中央小学校	63	52	54	49	48	41	36
合計	88	80	87	85	83	71	63

関係団体との関係性

② コミュニティ・スクールの活動内容

小・中学校に学校運営協議会を設置 各年4～6回の活動

③ 部活動の種目数と在籍数

R4年9月29日 現在 3部活 21名在籍

バドミントン部 7名

陸上部 9名

吹奏楽部 4名

スポーツアクセスの向上

部活動に関連する団体を見ると「バドミントン一択」になるが、地域全体でみると中学生がスポーツに触れる機会は増えることが分かる。

④ スポーツ協会・スポーツ少年団の種目数と在籍数

R4年4月1日現在

スポーツ協会 7団体 149名

*剣道 11名 *スキー 12名 *野球 40名 *バレーボール 20名

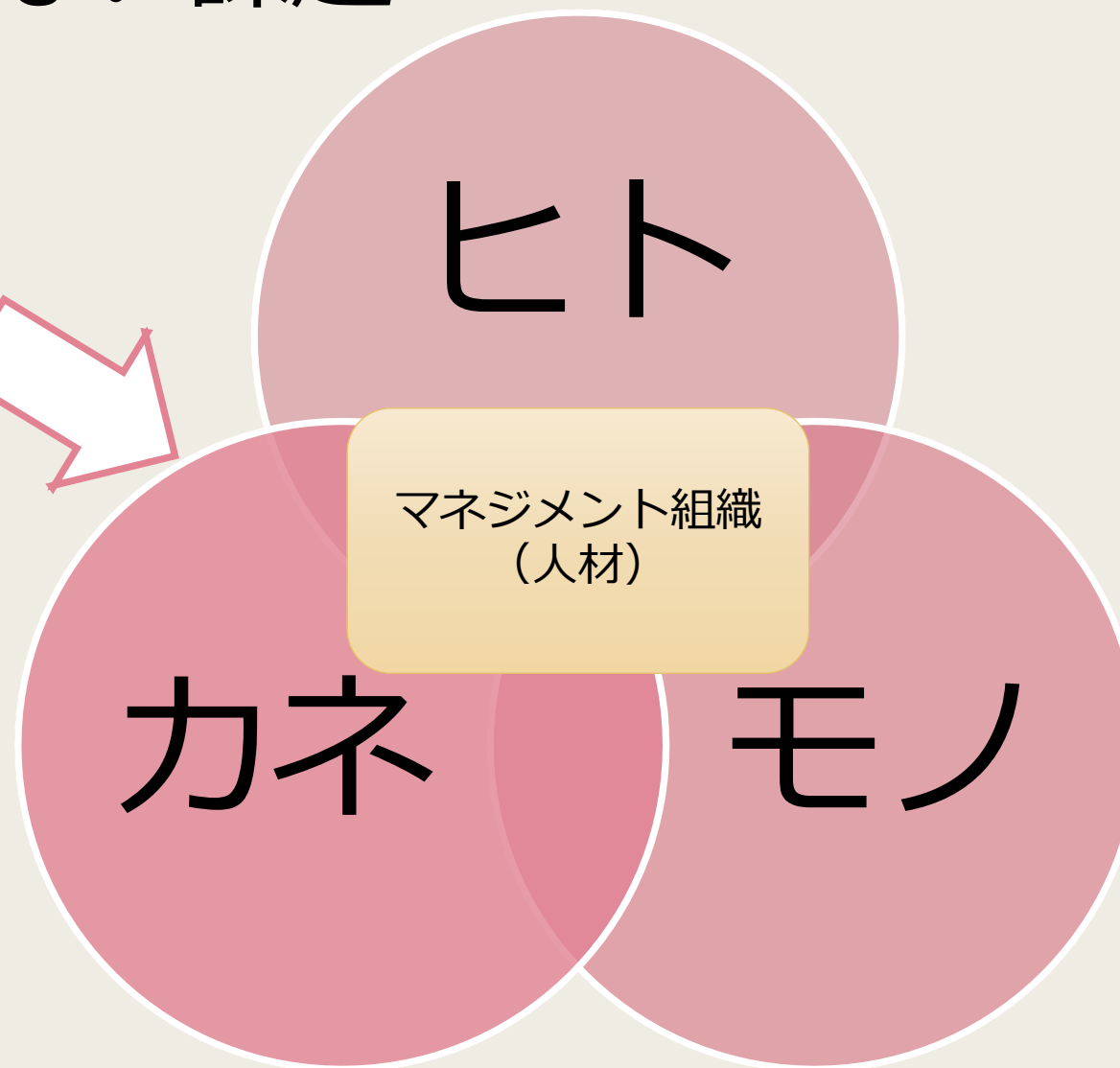
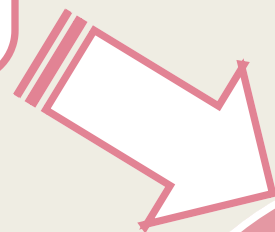
*バドミントン 6名 *ゲートボール 10名 *パークゴルフ 50名

スポーツ少年団 3団体 46名

*野球 14名 *スキー 23名 *剣道 9名

避けて通れない課題

- ・ 補助金や分配金
- ・ 会費の管理
- ・ 指導者の派遣調整
- ・ 施設の利用調整



本来の受け皿



同一会場で様々な運動を同時に提供している。
子供たちは時間内であれば自由にやりたい
スポーツを行うことも、新たにやってみたい運動
も実現することが可能となっている。
市内全8小学校で同じ取り組みを行っている。
この取り組みの中学生版を検討中。



おにスポのマルチスポーツの取組み

おにスポチャレンジクラブ

参加者募集

入会金 無料
年会費

「スポーツを始めてみたいけど、何が良いかわからない」「色々挑戦してみたい」そんな声にお応えするため、おにスポではチャレンジクラブを開催しています。今年度は3シーズンに分けて開催。1種目ごとの回数を増やして行きます。運動が苦手な子も、少し自信がない子も大歓迎！さあ、楽しい時間の始まりです！！

会場：毎週 水曜日 幌別西小体育館

時間：16:30～17:45程度

参加料：1シーズン4,000円(全8回程度 保険料込み)

シーズンバック(全課程参加)10,000円(保険料込み)

参加資格：小学2年生から6年生の男女 15名程度

申込み：メールのみ可 件名に「チャレクラ申込み」と記載して児童名、保護者氏名、学校名、学年保護者連絡先を記入して noboribetsusc@yahoo.co.jp まで申し込み下さい。

Season 1 ソフトバレーボール&かけっこ

期間：水曜日

5月11日～6月29日 全8回



ソフトバレーは体幹移動やボールフィーリングを楽しみながら獲得していきます。



かけっこはスタートの基本と身体上手な使い方を指導します。

Season 2 バスケット&跳び箱&マット運動

期間：水曜日

7月6日～9月14日 全8回



バスケットではドリブル・シュートを中心に個人スキルを中心に指導します。



跳び箱、マットは体育で行われる内容を指導します。

Season 3 サッカー&コーディネーションTR

期間：水曜日

9月21日～11月9日 全8回



サッカーではドリブルを中心に個人スキルを中心に指導します。



コーディネーショントレーニングでは、左右非対象の動きやダンスを楽しみながら多様な動きを作ります。

NPO法人おにスポ

090-9529-1765

登別市桜木町3丁目2-16-202号

<https://www.facebook.com/>

blog <https://blog.goo.ne.jp/onispo>

mail: noboribetsusc@yahoo.co.jp

会場の都合により開催日を変更する場合がございます。また新型コロナ感染状況に応じて延期または中止することがありますので予めご了承下さい。

まとめ

- 主体は児童生徒であり「生徒のやってみたい！」が叶う仕組み作りを！！
- 地域移行は受け皿探しではありません（わが町のスポーツイノベーションを！）
- スタイル確立のため「ゴール」（在るべき姿）を明確にすることも必要



部活動の地域移行は地域スポーツの未来を議論する入口です！

ワクワクする
ような未来を
描きましょう！！